資料１

公立大学法人島根県立大学
平成２８年度に係る業務の実績に関する評価結果
（案）

平成２９年８月

島根県公立大学法人評価委員会

1　評価にあたって

公立大学法人島根県立大学の平成 28 年度の業務実績に関する評価については、「公立大学法人島根県立大学の各事業年度の業務実績評価（年度評価）実施要領」に基づき、以下のとおり実施した。

（1）島根県公立大学法人評価委員会委員

	氏名	役職
委員長	服部　泰直	国立大学法人島根大学長
委員	渋川　あゆみ	助産師
委員	服部　京子	元県立飯南高等学校長
委員	三島　明	公認会計士
委員	宮脇　和秀	㈱ミック代表取締役社長

（2）評価の方法

① 年度評価は、「全体評価」と「項目別評価」により実施した。

② 「全体評価」は、次に掲げる「項目別評価」の結果を踏まえ、中期計画の進捗状況全体について評価を行った。

③ 「項目別評価」は、大学法人から提出された業務実績報告書を検証し、年度計画の記載事項ごとに５段階（５～１）で評価するとともに、中期目標項目別にＡＡ～Ｄの５段階で評価を行った。なお、「Ⅱ大学の教育研究等の質の向上」に関する項目については、５段階評価ではなく、進捗状況・成果を総合的に評価した。

［中期目標項目］

Ⅰ	社会情勢の変化に的確に対応した大学づくり
Ⅱ	大学の教育研究等の質の向上
Ⅲ	自主的、自律的な組織・運営体制の確立
Ⅳ	評価制度の充実及び情報公開の推進
Ⅴ	その他の業務運営に関する重要事項

［中期目標項目別の評価基準］（「Ⅱ大学の教育研究等の質の向上」に関する項目を除く）

評価	基　準	
ＡＡ	特筆すべき進捗状況にある	（評点平均値 4.3～）
Ａ	順調に進んでいる	（評点平均値 3.5～4.2）
Ｂ	概ね順調	（評点平均値 2.7～3.4）
Ｃ	やや遅れている	（評定平均値 1.9～2.6）
Ｄ	大幅な改善が必要	（評定平均値～1.8）

評点平均値：年度計画各項目を５点満点で評価し、中期目標項目ごとに平均値を算出したもの。

２　全体評価

（１）概要

島根県は、平成 19 年４月に地方独立行政法人法に基づく公立大学法人島根県立大学を設立した。そして、平成 19 年度から平成 24 年度までの第１期６年間に続き、平成 25 年度からの第２期６年間についても、島根県は大学が達成すべき目標（中期目標）を指示し、大学の取組みを促しているところである。

全国的に地方創生の取組みが進められる中、地方公共団体が設置する公立大学には、これまで以上に地域課題の解決に向けた役割が期待されているとともに、地域や時代の要請に応え、特色ある、学生にとって魅力ある高等教育機関として発展し、地域へ人材を輩出していくことが求められている。

平成 28 年度の業務実績評価については、点数評価を行う４つの大項目のうち、３項目がＡ評価（「中期目標の達成に向けて順調に進んでいる」）、１項目がＢ評価（「中期目標の達成に向けて概ね順調に進んでいる」」であった。

（２）評価の視点

当評価委員会が大学運営・教育研究について、評価に際して考慮した事項を視点別に掲げると、以下のとおりである。

○　学生の入学

- 出雲キャンパスにおいて、看護師が不足する県内中山間地域の学生を対象とした推薦制度を新たに導入し４名の入学者を得た。
- 一方で、県内入学率は、浜田・出雲キャンパスにおいて、近年数年間の状況は減少傾向にある。県内高校への働きかけの強化、県立大学ならではの入試制度の検討など、県内入学者の向上の取組みを期待する。

○　学生の就職

- 平成 28 年度卒業生の就職率は、浜田キャンパス 98.0%、出雲キャンパス 100%、松江キャンパス 97.5%と昨年度に引き続き高い水準を維持した。
- 別科助産学専攻では、実習施設・機関との連携を深め、特に県西部を含めた県内就職の実績に繋げた。（県東部就職５名、県西部就職７名）
- 県内就職率については、島根大学・松江高専と連携して実施する「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC＋）」において、県内高等教育機関卒業生の県内就職率を平成 31 年度に 45.1%にすることを目標に掲げているが、平成 28 年度実績は 34.7%に留まっている。県立大学のキャンパス毎では、浜田キャンパス 23.0%、出雲キャンパス 47.0%、松江キャンパス 68.0%となり、近年数年間は減少傾向にあることから、より多くの人材を地域に輩出するように、インターンシッ

プの強化や、県内就職した卒業生と在学生との交流の促進といった、県内就職率向上の取組みを期待する。

○ 地域貢献

・ 平成25年度に採択を受けた「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」において、「しまね地域マイスター」制度を昨年の浜田キャンパスに加え、平成28年度は出雲キャンパスへ拡充したほか、浜田キャンパスでは、マイスター認定のための科目として、２科目を新規開講するなど、大学ＣＯＣ事業を昨年度に引き続き実施した。
・ 出雲キャンパスでは、６月に開講した緩和ケア認定看護師教育課程にて、定員の10名を超える受け入れを行い、19名の修了者を輩出した。
・ 松江キャンパスでは、社会人学び直しのための「履修証明プログラム」を開講し、初年度ながら８コースでのべ111名の受講申し込みがあった。
・ 県立大学として、県内で活躍する人材の育成や、公開講座といったリカレント教育の充実、自治体等と連携した地域の課題発見・解決などさらなる地域貢献活動の推進を期待する。

○ 国際交流

・ 新たに２大学との包括協定、学生派遣協定を結び、国際的な教育環境を整備した。
・ 国際交流参加者が目標の年間180人に対し、147名となり目標達成とはならなかったことから、今後さらなる取組みを期待する。

（３）総括

以上のことから、項目ごとに今後さらなる取組みが必要な事項が見受けられるものの、中期目標の達成に向けて取組みを進めていることを考慮し、第２期中期目標期間４年目である平成28年度の業務運営を、**「中期目標の達成に向けて順調に進んでいる」**と評価する。

［今後に向けた留意点］

県立大学は、地域のニーズや社会情勢の変化に対して、柔軟に対応する必要がある。大学運営にあたり、以下に掲げる議論が県民や地域に多くあることに、特に留意しなくてはいけない。

県立大学として、県内への人材供給を増やしていくためにも、入試制度の見直し、県内高校生の受け入れについて検討していく必要がある。

また、大学の公的研究機関である北東アジア地域研究センターにおける研究については、対象地域や分野など、県民にとって必要な研究が中心となるべきであり、その成果を教育に反映させる必要がある。

３　項目別評価

Ⅰ　社会情勢の変化に的確に対応した大学づくり

（１）評価結果と判断理由

○　計画項目の集計結果では、A評価（順調に進んでいる）である。

・　社会情勢の変化や地域のニーズに対応する、大学の新たな体制・組織づくりへの取り組みが認められることから、中期目標の達成に向けて順調に進んでいると認められる。

○　以上により、中期目標項目評価としては、A評価（順調に進んでいる）と評価する。

A	順調に進んでいる	評点平均　４．００

（２）実施状況

①　評価にあたって考慮した事項

○　浜田キャンパス

・　浜田キャンパスの将来構想について、受験動向の分析、パブリックコメント、先行事例現地調査などを踏まえ、法人としての将来構想を策定し、島根県及び大学支援協議会に報告した。

○　松江キャンパス

・　松江キャンパスの新学部設置等について、設置認可申請の準備を着実に進め、平成 29 年３月に、文部科学省へ「学部設置認可申請書」及び「教職課程認定申請書」、関東甲信越厚生局に「管理栄養士養成指定施設申請書」を提出した。また、県内外の高校２年生を対象にした進学アンケートや県内事業所等を対象にした採用意向調査、オープンキャンパスでのアンケート等の結果から、学生確保の見通しが立てられた。

Ⅱ　大学の教育研究等の質の向上

（１） 高い知性と豊かな人間性を育み、社会に役立つ人材を輩出する大学

（評価の視点）
・　質の高い教育の提供や学生に対するきめ細やかな支援がなされ、幅広い教養、知識、課題発見・解決能力、変貌する経済・社会への対応力を有した人材を育成できているか。

（特筆すべき点（注目される点））

○　全学

・　島根大学・松江高専と連携して実施する「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC＋)」にて、学生と企業の情報交換会である「しまね大交流会」に学生が多数参加した。(浜田キャンパス 106 名、松江キャンパス 34 名)

○　浜田キャンパス

・　インターンシップについて、事前学習科目の充実により参加学生が増加するなど、キャリア支援の取組みにより、就職率が 98.0%となり昨年度の 99.1%に引き続き高い水準を維持した。
・　英語教員によるゼミの開講、文章作成能力向上のための科目の開講を行った結果、９名の学生が卒業論文を英語で執筆した。また TOEIC 730 点程度の学生を２名輩出し、目標を達成した。
（目標：TOEIC 730 点、英検準一級、TOEFL iBT 61 点(IPT 500 点)、程度の英語力のある学生、又は英語で卒業論文を執筆する学生を 10 人以上輩出する。）

○　出雲キャンパス

・　看護師が不足する県内中山間地域の学生を対象とした推薦制度を新たに導入し、４名の入学者を得た。
・　看護学科、別科助産学専攻ともに昨年に引き続き、就職率 100%を達成した。

○　松江キャンパス

・　全学生を対象とした模擬面接などキャリア支援の取組みにより、全国短大平均就職率 97.0%を上回る 97.5%の就職率を達成した。

（遅れている点（課題がある点））

○　全学

・　一般入試志願倍率は、浜田キャンパスで 7.12 倍（昨年度 8.39 倍）、松江キャンパスで 3.14 倍（昨年度 3.28 倍）となり、昨年度より減となった。出雲キャンパスでは、5.97 倍（昨年度 2.54 倍）となり、昨年度より上昇したものの、過去の水準までは回復していないことから、志願倍率の向上の取組みを期待する。

○　浜田キャンパス

・　大学院北東アジア開発研究科（後期）課程について、入学定員２名のところ、入学者がおらず、入学定員充足率が０%だった。

○　浜田キャンパス・松江キャンパス

・　FDの取組みについて、浜田・松江キャンパスは授業公開が試行実施であり、学生の授業アンケート回答率、専任教員によるフィードバック提出率がこの３年間で最低の数値となっている。

　一方、出雲キャンパスでは、全教員が授業公開を行い、報告書を提出しているほか、学生アンケート回答率、専任教員によるフィードバック提出率は高水準である。浜田・松江キャンパスでも今後さらなる取組みの強化を行い、組織的なFDの取組みを進められたい。

ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント（Faculty Development））
　教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取り組みの総称

（２） 地域に根ざし、地域に貢献する大学

（評価の視点）
- 地域に根ざした大学として、積極的に地域に関与する姿勢を持ち、地域課題研究の推進や、地域の多様な学習ニーズへの対応など地域に貢献する大学を目指しているか。
- 公立大学として、地域の求める人材を育成し、輩出しているか。

（特筆すべき点（注目される点））

○ 全学
- 平成25年度に採択を受けた「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」を今年度も引き続き実施した。
- 県立大学独自の制度である「しまね地域マイスター」を、昨年の浜田キャンパスに引き続き、平成28年度は出雲キャンパスでも開始した。昨年度より開講している「しまね地域共生学入門」は、浜田・出雲・松江キャンパスの必修科目として整備し、すべての学生が島根地域の現状を理解する科目を学ぶこととなった。

  また浜田キャンパスでは、新たに認定のための科目として、「地域共生演習」「地域課題総合理解」を開講し、地域課題の解決ができる実践力を持った人材の育成を進めた。
- 学生によるボランティア参加者は、昨年度より115人多い889人となり、学生のボランティア意識の向上が見受けられる。

○ 浜田キャンパス
- 浜田市・益田市との共同研究として、「ヨシタケコーヒーを活かした観光と地域活性」「萩・石見空港を利用した着地型観光と広域観光ルートの提案」など7件を実施したほか、新たに邑南町との共同研究で「邑南町における地区別の人口分析及びビジョンについての調査研究」に取り組んだ。

○ 出雲キャンパス
- ６月に開講した緩和ケア認定看護師教育課程において19名の修了者を輩出し、医療現場の課題に取り組む実践的な人材育成を進めた。
- 別科助産学専攻では、実習施設・機関との連携を深め、各施設の指導者から、施設概要、実習の方法等についての説明会を開催した。結果、県内学生の県内医療機関への理解を深めることができ、県内就職、特に県西部への就職に繋げ

ることができた。（県東部就職５名、県西部就職７名）

- 大学院看護学研究科では定員５名に対し６名の入学者があり、昨年に引き続き定員を充足した。より高度な看護技術を取得のための人材育成を順調に進めている。
- 邑南町でタウンミーティングを開催し、地域医療を担う人材育成や、地域と大学の連携について意見交換を実施するなど地域貢献に取り組んだ。
- 「地域在住高齢者の死生観と終末期療養ニーズ」「島根の地を活かした療養者向けヘルスツーリズムの開発」など、地域看護・健康の向上のための研究に取り組んでいる。

○　松江キャンパス

- 社会人学び直しのための環境整備のため、新たに「履修証明プログラム」を開講し、初年度ながら８コースで延べ 111 名の受講申し込みがあった。
- 自治体・企業等と連携して、地元食材を使用した食品を３品開発し、地域の食文化の向上・産業の活性化に貢献した。

（遅れている点（課題がある点））

【県内入学率】

- 浜田キャンパス 21.7%（昨年度 28.8%）、出雲キャンパス 51.2%（昨年度 63.8%）、松江キャンパス 69.1%（昨年度 69.8%）となった。県内入学率は近年数年間をみると減少傾向にあり、県内入学率の向上の取組みを期待する。

【県内就職率】

- 就職希望者に占める県内就職者は、浜田キャンパス 23.0%（昨年度 25.0%）、出雲キャンパス 47.0%（昨年度 59.5%）、松江キャンパス 68.0%（昨年度 67.5%）となった。県内就職率も近年数年間をみると減少傾向にあることから、県立大学として、地域により多くの人材を輩出するように、県内就職率向上の取組みを期待する。

（３） 北東アジアをはじめとする国際的な教育研究を推進する大学

（評価の視点）

・　北東アジアをはじめとする国際的な教育研究を推進し、国際的にも活躍できる人材育成を進めているか。

・　外国の大学との学術ネットワークの形成や留学生の派遣交流が積極的に行われているか。

（特筆すべき点（注目される点））

〇　全学

・　新たに世新（せしん）大学（台湾）、世宗（せじょん）大学校（韓国）との包括協定、学生派遣協定を締結し、国際的な教育環境を整備した。

（遅れている点（課題がある点））

〇　全学

・　海外留学、海外研修など国際交流参加者は 147 名となり、昨年度より 47 名の増となったものの、目標の年間 180 人に対し 147 名となり目標達成とはならなかったことから、さらなる参加者増加の取組みを期待する。

Ⅲ　自主的、自律的な組織・運営体制の確立

（１）評価結果と判断理由

○　計画項目の集計結果ではA評価（順調に進んでいる）である。

・　予算編成プロセスを通じた事業の点検・見直しを新たに実施したほか、松江キャンパスで地域連携機能を強化するために地域連携課を新設するなど、効率的・合理的運営、地域ニーズに対応するための組織の充実が図られ、中期目標の達成に向けて順調に進んでいると認められる。

○　以上により、中期目標項目評価としては、A評価（順調に進んでいる）と評価する。

A	順調に進んでいる	評点平均　３．８２

（２）実施状況

①　評価にあたって考慮した事項

○　全学

・　予算編成作業にて事務事業の見直しを行い、各キャンパスの課室に対して該当項目を提示し、課題の検討・整理を行い、その結果を平成 29 年度当初予算へ反映させた。

○　松江キャンパス

・　平成 28 年４月に地域連携課を新設し、地域貢献事業の体制強化を図った。

Ⅳ　評価制度の充実及び情報公開の推進

（１）評価結果と判断理由

○　計画項目の集計結果では、Ｂ評価（概ね順調）である。

・　学生や地域住民から意見を聴く機会を設け、意見をもとに制度を改善するなど中期目標達成に向けて取り組んでいるものの、昨年度評価で指摘した事項の改善が十分でない面があり、今後の取組みに期待する。

○　以上により、中期目標項目評価としては、B 評価（概ね順調）と評価する。

B	概ね順調	評点平均　３．３３

（２）実施状況

①　評価にあたって考慮した事項

○　全学

・　ステークホルダーからの意見のうち、学生・市民研究員などからの意見の一部について制度変更を行った。

【制度変更実績】

・　学生が、所属しているプログラム以外のゼミを選択できるようにした。
・　市民研究員と大学院生との共同研究に関する助成制度について、助成対象の拡大を行った。

②　今後の取り組みが期待される事項

○　浜田キャンパス

・　昨年度評価にて指摘した、県内入学率・県内就職率の向上、FD の取組みについて、評価結果を大学運営の改善に活用するように努めたが、反映しきれていない。現状の課題を整理し、より効果的な取組みの実施を期待する。

Ⅴ　その他業務運営に関する重要事項

（１）評価結果と判断理由

○　計画項目の集計結果では、Ａ評価（順調に進んでいる）である。

・　入試広報について様々なツールを積極的に活用し、入学定員充足率 100%を達成したほか、出雲キャンパスではホームカミングデーを開催し、卒業生が大学との接点を持ち続ける取組みを進めた。

○　以上により、中期目標項目評価としては、Ａ評価（順調に進んでいる）と評価する。

Ａ	順調に進んでいる	評点平均　３．９５

（２）実施状況

①　評価にあたって考慮した事項

○　全学

・　広報活動に積極的に取り組んだ結果、３キャンパスのホームページサイト訪問者数が、本部及び３キャンパス合計で前年度比 15.5%の増となり、年度計画数値目標である前年度比 10%増を達成した。

・　テレビ CM、高校生向けの LINE による入試広報など、様々な広報媒体を組み合わせ、全学で入学定員充足率 100%を達成した。

○　出雲キャンパス

・　新卒者・就職２年目の卒業生・修了生を対象としたホームカミングデーを開催し、14 名の参加があった。近況報告、体験談の共有などによりリフレッシュを図ることによる離職防止、卒業生・修了生を対象に行っているリカレント教育といった研究支援等の紹介を行った。

［項目別評価資料］

公立大学法人島根県立大学平成28年度業務実績評価　評点算定表

中期目標（大項目）／中期目標（中項目）／中期目標（小項目）	平成28年度計画評点 評点合計 （A）	計画項目数 （B）	評点平均 （A）／（B）	中期目標項目別評価結果
Ⅰ. 社会情勢の変化に的確に対応した大学づくり	8	2	4.00	A
Ⅱ. 大学の教育研究等の質の向上	5段階評価を行わない項目			
Ⅲ. 自主的、自律的な組織・運営体制の確立	84	22	3.82	A
1 業務運営の改善及び効率化	37	10	3.70	
⑴ 運営、組織体制の改善による効率的、合理的な経営	11	3	3.67	
⑵ 人材管理の適正化	26	7	3.71	
2 財務内容の改善による経営基盤の強化	47	12	3.92	
⑴ 自己財源の充実	31	8	3.88	
⑵ 経費の抑制	12	3	4.00	
⑶ 監査体制の充実	4	1	4.00	
Ⅳ. 評価制度の充実及び情報公開の推進	20	6	3.33	B
1 評価制度の充実	12	4	3.00	
⑴ 組織を対象とした評価制度	6	2	3.00	
⑵ 個人を対象とした評価制度	6	2	3.00	
2 情報公開の推進	8	2	4.00	
Ⅴ. その他業務運営に関する重要事項	83	21	3.95	A
1 広報広聴活動の積極的な展開等	51	13	3.92	
⑴ 戦略的な広報の実施	16	4	4.00	
⑵ 大学支援組織との連携強化	24	6	4.00	
⑶ 広聴活動の実施	11	3	3.67	
2 施設設備の維持、整備等の適切な実施	4	1	4.00	
3 安全管理対策の推進	12	3	4.00	
4 危機管理体制の確保	4	1	4.00	
5 人権の尊重	8	2	4.00	
6 環境マネジメントの構築・推進	4	1	4.00	

評価	基　準
ＡＡ	特筆すべき進捗状況にある　（評点平均値 4.3～）
A	順調に進んでいる　（評点平均値 3.5～4.2）
B	概ね順調　（評点平均値 2.7～3.4）
C	やや遅れている　（評定平均値 1.9～2.6）
D	大幅な改善が必要　（評定平均値～1.8）

４．参考

（１）学生確保の状況

①　［一般入試志願倍率］

区分		Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	目標
浜田	公立大学 人文・社会 学部系統順位	８．１２倍 （８位／３３校） ･･･２４．２％	８．３９倍 （９位／３３校） ･･･２７．３％	７．１２倍 （１１位／３４校） ･･･３２．４％	１５％以内
出雲	公立大学 薬・看護 学部系統順位	９．３１倍 （３位／４５校） ･･･６．７％	２．５４倍 （４３位／４５校） ･･･９５．６％	５．９７倍 （１５位／４５校） ･･･３３．３％	１０％以内
松江	公立短期 大学順位	２．９８倍 （１１位／１６校） ･･･６８．８％	３．２８倍 （１２位／１５校） ･･･８０．０％	３．１４倍 （１１位／１４校） ･･･７８．６％	５０％以内

②　［入学者に占める県内者割合］　　（単位：％）

区分	Ｈ２４	Ｈ２５	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ３１目標
浜田	３５．９	３５．９	２３．７	２８．８	２１．７	４０．０
出雲	６４．０	６１．４	５８．８	６３．８	５１．２	６０．０
松江	６２．５	６４．８	６６．４	６９．８	６９．１	７０．０

（２）就職の状況

①　［キャンパス別就職率］　　（単位：％）

区分	Ｈ２４	Ｈ２５	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８
浜田	９６．８	９５．３	９５．６	９９．１	９８．０
出雲	１００．０	１００．０	－	１００．０	１００．０
松江	９２．９	９５．２	９７．４	９８．５	９７．５

②　［県内就職率（就職希望者に占める県内就職者）］　　（単位：％）

区分		Ｈ２４	Ｈ２５	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ３１ 目標
県内高等教育機関※		－	－	３５．１	３５．０	３４．７	４５．１
県立大学	浜田	２５．０	２６．４	２２．７	２５．０	２３．０	
	出雲	８１．３	７０．６	－	５９．５	４７．０	
	松江	６９．７	７１．４	６４．９	６７．５	６８．０	

※　島根大学、島根県立大学、松江高専

①，②･･･H26 出雲キャンパスについては、３年制から４年制への移行期のため、卒業生がいない。

②　･･････H24、H25 の県内高等教育機関については、島根県立大学を除く他機関の実績が整理されていない。

（３）ＦＤの取組みの状況

①　［学生アンケート回答率］

（単位：%）

		Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８
浜田	春学期	４７．０	４７．２	４１．４
	秋学期	３９．９	３５．１	３４．６
出雲	春学期	８７．０	９６．４	９８．８
	秋学期	９４．１	９８．０	１００．０
松江	春学期	８８．１	８５．７	７７．６
	秋学期	７９．５	７１．５	６５．１

②　［専任教員によるフィードバック提出率］

（単位：%）

		Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８
浜田	春学期	７８．３	６１．７	５５．１
	秋学期	７１．１	５３．２	５３．２
出雲	春学期	１００．０	１００．０	１００．０
	秋学期	１００．０	１００．０	１００．０
松江	春学期	８０．６	８６．７	５４．５
	秋学期	－	－	５６．７